

問1 五・四運動が学生を中心に始まり、当時の中国の首都であった都市を何という？

1. 北京 2. 南京 3. 上海 4. 広州

問2 海軍の青年将校らが犬養毅首相を暗殺し、政党政治が終わりを告げるきっかけとなった事件は何年におこった？

1. 1937年 2. 1931年 3. 1936年 4. 1932年

問3 五・四運動の影響を受け、その後の中国の民族主義的な政党として勢力を拡大した組織を何という？

1. 自由党 2. 共産党 3. 国民党 4. 立憲改進黨

問4 1941年、中国大陸や東南アジアへ進出する日本を阻止するため、石油の輸出を止める措置をとった国はどこですか？

1. フランス 2. アメリカ 3. ドイツ 4. イギリス

問5 1930年、主力艦に続いて補助艦の保有量まで制限することを決めた条約を何という？

1. ワシントン海軍軍縮条約 2. ジュネーブ軍縮会議 3. 軍縮会議 4. ロンドン海軍軍縮条約

問6 1940年、日本国内の既存の政党を解散させて結成された、戦争遂行のための組織を何という？

1. 大政翼賛会 2. 社会大衆党 3. 立憲政友会 4. 立憲民政党

問7 1932年、海軍の青年将校らが犬養毅首相を暗殺した事件を何といいいますか？

1. 二・二六事件 2. 五・一五事件 3. 血盟団事件 4. 桜田門外の変

問8 リットン調査団の報告書により建国が否定され、国際的な承認が得られなかった国を何という？

1. 日本帝国 2. 大韓帝国 3. 満州国 4. 中華民国

問9 日中戦争の長期化に伴い、日本に対して欧米諸国が行った経済封鎖などの包囲網を何という？

1. 英日同盟 2. 日独伊三国同盟 3. ワシントン会議 4. ABCD包囲網

問10 国家の予算のうち、軍隊の維持や兵器の購入など、軍事目的で使われる費用のことを何といいいますか？

1. 軍事費 2. 教育費 3. 社会保障費 4. 公債費

問11 世界恐慌後の不況が深刻化し、世界を巻き込む大戦へと発展した出来事を何という？

1. 太平洋戦争 2. 日中戦争 3. 第二次世界大戦 4. 第一次世界大戦

問12 第二次世界大戦中、都市部の子供たちが農村部などへ避難した制度を、学童の移動という観点から正式に何という？

1. 徴用 2. 学童疎開 3. 集団自決 4. 強制労働

問13 1929年にアメリカから始まり、世界各国で深刻な不況を引き起こした経済危機を何という？

1. 世界恐慌 2. 昭和恐慌 3. オイルショック 4. 金融恐慌

問14 1931年に柳条湖事件をきっかけとして始まり、日本軍が中国東北部を占領した出来事を何という？

1. 日中戦争 2. 日露戦争 3. 太平洋戦争 4. 満州事変

問15 議会が選出した政党の代表が内閣を組織する政治体制を何という？

1. 絶対王政 2. 政党政治 3. 大政翼賛会 4. 軍部独裁

問16 政府が市場経済の調整や失業対策などの目的で、国民の経済活動に対して積極的に関与することを何という？

1. 自由競争 2. 放任 3. 介入 4. 市場開放

答え合わせ・解説

問1	答え 1 北京	1919年5月4日、北京の学生たちが中心となり、日本の二十一か条の要求撤回や、売国的な政府に反対するデモを行いました。これが全国的な反帝国主義運動へと拡大し、中国の現代化を促す画期的な出来事となりました。
問2	答え 4 1932年	1932年5月15日、海軍の青年将校らが当時の首相であった犬養毅を官邸で襲撃・暗殺しました。この事件により、政党政治は事実上の終わりを迎えました。
問3	答え 3 国民党	五・四運動で高まった反帝国主義や民族の意識を背景に、国民党は中国の統一と近代化を目指して勢力を強めました。孫文の指導の下で組織され、後に中国共産党とも協力して軍閥を倒す北伐を行いました。
問4	答え 2 アメリカ	1941年、アメリカはオランダやイギリスと協力し、対日石油輸出を全面的に停止しました。これによって日本の戦争継続能力は深刻な打撃を受け、日本国内では資源確保の必要性が叫ばれるようになりました。
問5	答え 4 ロンドン海軍軍縮条約	1930年にロンドンで調印されたこの条約は、主力艦だけでなく潜水艦や巡洋艦などの「補助艦」まで保有制限の対象としました。当時の濱口雄幸内閣が調印を強行しましたが、軍部の強い反発を招きました。
問6	答え 1 大政翼賛会	1940年、近衛文麿首相の下で提唱された「新体制運動」の一環として、すべての政党が解散し、大政翼賛会が結成されました。これは政府と国民の間のパイプ役となり、軍部や官僚、産業界などが一体となって戦争協力を推進する組織でした。
問7	答え 2 五・一五事件	1932年5月15日、海軍の青年将校らが首相官邸を襲撃し、政党政治を維持していた犬養毅首相を殺害しました。この事件は軍部の独走を象徴する出来事となり、議会を中心とする政治の力が大きく失われました。
問8	答え 3 満州国	1932年、日本の主導によって設立された国家です。しかし、国際連盟の調査団（リットン調査団）は、これが日本による侵略の産物であるとして承認しませんでした。
問9	答え 4 ABCD包囲網	アメリカ(A)、イギリス(B)、中国(C)、オランダ(D)の頭文字をとって呼ばれます。彼らは日本への石油輸出を停止し、資産を凍結するなどの厳しい経済制裁を実施しました。
問10	答え 1 軍事費	当時の政府は、中国での勢力拡大や国際的な孤立に対応するため、軍事費を大幅に増やしました。予算の多くが戦争のための兵器や人員に充てられたため、国民生活は圧迫され、必要な物資が不足するなど苦しい状況が生まれました。
問11	答え 3 第二次世界大戦	経済的な苦境から抜け出そうとしたドイツやイタリア、日本では軍勢力が強まり、他国への侵略を開始しました。これに反発する連合国側との間で、1939年から1945年にかけて世界各地で大規模な戦闘が繰り広げられました。
問12	答え 2 学童疎開	1944年から本格的に実施され、縁故疎開ができない都市部の小学生たちは、学校単位で寺院や旅館などに集団で生活する「学童疎開」を行いました。
問13	答え 1 世界恐慌	1929年10月、ニューヨーク証券取引所での株価暴落をきっかけに、銀行の倒産や工場の閉鎖が相次ぎました。この影響は貿易や金融を通じて世界中へ伝わり、失業者が激増しました。各国の経済は大混乱に陥り、日本を含む世界中で生活が困窮しました。
問14	答え 4 満州事変	1931年の柳条湖事件から始まった満州事変は、関東軍による無断の進軍でした。政府が抑制しようとしても軍の暴走は止まらず、満州全域が日本軍によって制圧されました。翌年には清朝の最後の皇帝である溥儀を元首に立て、「満州国」が建国されました。
問15	答え 2 政党政治	政党政治は、選挙で勝った政党が内閣を組む「政党内閣制」として大正時代に定着しました。原敬内閣以降、首相が政党から選ばれることが慣例となりました。これは民主的な政治の一步として重要でしたが、軍部からの批判も根強く残っていました。
問16	答え 3 介入	政府が「介入」を行うことで、公共事業を増やして雇用を生み出したり、労働条件を改善したりして購買力を高めました。特にアメリカのニューディール政策が代表的で、それまでの「市場に任せる」という方針からの大きな転換点となりました。